

～つながりあい、支え合う地域を目指して～

**やまなしの地域づくりを応援する情報メディア  
 「わたあめ」が始動しました！**

県社協の略称でも知られている「社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会」では、地域福祉の推進に向けたさまざまな活動を行っています。令和4年度からは、県の補助を受けて、地域福祉活動の活性化により孤独・孤立を防ぐことを目的とした“やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業”に取り組んでおり、令和5年5月に官民を超えた連携を図る「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」が立ち上がりました。今年3月には、地域で行われているさまざまな活動や助けあい・支え合いの姿をいろんな人に伝えていこうと、地域づくりを応援する情報メディア「わたあめ」が始動しました。そんな地域に密着したプロジェクトに取り組む背景についてお話を伺いました。



**つながりが地域課題解決の一翼となる**

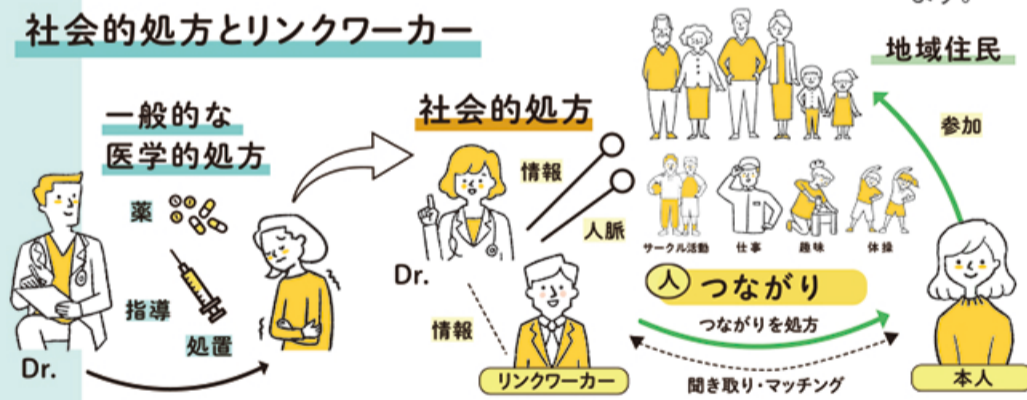
コロナ禍を経て、「共」の場の衰退は、孤独感や孤立の状況を生む一因になることが浮き彫りとなりました。これから何を大切に、どんな暮らしをしていきたいのかなど、これまでの価値を捉え直した方も多いのではないのでしょうか。

そうした経験から、「地域で行われているさまざまな地域福祉活動を推進し、活性化していくためのネットワークづくり・人づくり・応援（サポート）体制づくりを通じ、つながりを支える場所をつくりたい」と考え、事業の柱の一つとして「やまなし地域福祉応援プラットフォーム」を開設しました。

**人と人、人と場をつなぐ「社会的処方」という取り組み**

孤独・孤立は、誰にでも起こり得るものです。ふとした瞬間に、孤独を感じた時、顔の思い浮かぶ人がいること、話を聴いてくれる人がいること、ホッとできる・元気になる居場所があることで、救われることが沢山あります。イギリスでは「つながり」をベースにした孤独・孤立対策として、「社会的処方」という取り組みが行われています。これは、地域活動を「薬」に見立て、住民の抱える課題に対し、〈地域でのつながり〉を処方することで解決するという考え方で、リンクワーカー（人や場とつなぐ人）によって、地域にある活動と人とをマッチングする仕組みです。「地域で行われている活動や人が、誰かの薬となる」という視点は、これからの孤独・孤立の課題に取り組むうえで大切なポイントとなっています。

**社会的処方とリンクワーカー**



県内のであいつながり・支え合いなど、  
 地域づくりの多種多様な活動を発信しています。



**情報メディア「わたあめ」で、つながりあい・支え合う地域の姿を伝えたい**

**わになって たくさんの あんしんづくりを めざして**

そうした人や場との「出会い（知るきっかけ）」を提供していくことを目的とした情報メディアが「わたあめ」です。地域のさまざまな支え合いの姿を記録し、発信していくことで、共同体のつながりの意義を再確認し、「やるじゃん、地域」と思えるような県内各地の情報をお届けしていきます。課題を知り、仲間と出会い、実践してみることで、ともに寄り添い、つながりが増え、社会が変わる。そんな流れを山梨県内に広げていけるよう、「わたあめ」を通じて発信をしていけたらと思っています。



やまなし地域福祉応援プラットフォーム事務局  
 (山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室)

TEL: 055-254-8696

Instagram



**プラットフォーム会員を随時募集中！**

一緒に考え、活動とともにするプラットフォーム会員を随時募集しています。キーワードは、「ひとりぼっちをつくらない・つながれないをつくらない」ぜひ、みなさんのできることを持ち寄ってください！

プラットフォームに関する要綱&入会申込書はこちら

